

【配信日】2012年7月12日

食品残さ（生ごみ）で作った肥料で野菜づくり 『コープ彩園ベジタブル』トマトの出荷が本格化！

いずみ市民生協がとりくむ「食品リサイクル・ループ」は、生協の物流や店舗から出る食品残さ（生ごみ）から肥料を作り、農業生産法人「株いずみエコロジーファーム」の野菜づくりに使用しています。つくられた農産物は、宅配や店舗で販売しています。

現在、トマトの収穫が朝早くから行われています。

写真は、南河内郡河南町のハウス



いずみ市民生協の「食品リサイクル・ループ」は2011年9月に国（農水省および環境省）の認定を取得しています。



「コープ彩園ベジタブル」

南河内郡河南町と和泉市善正町の農地で栽培しています！



←河南町

この2月に増設した3棟を含むハウス8棟（写真左）からは、きゅうり・トマトを出荷しています。



和泉市善正町→

ハウス8棟（写真右）で、トマトが実っています。また、新設するハウス7棟内に全長3900mにおよぶ養液土耕栽培ベットを設置する予定です。



(株)いずみエコロジーファーム

ハートランドいずみ事業部が開設しました！

7月1日（日）、農業生産法人「(株)いずみエコロジーファーム」の就労継続支援A型事業所「ハートランドいずみ事業部」の開設式および入社式が執り行われました。



ご家族、支援者の方々とともに

農業生産法人「(株)いずみエコロジーファーム」は、2010年8月にいずみ市民生活協会の「食品リサイクル・ループ」の一翼を担う関係会社として営農を開始しました。生産した農産物の全量をいずみ市民生活協会に出荷し、作付面積の拡大により農産物の生産を増加させています。

「ハートランドいずみ事業部」では、収穫した農産物の包装加工作業から開始し、農産物の生産にも広げていく予定です。

一般就労が困難な各障がい者の能力に応じて指導を行い、各人の持てる能力を十二分に引き出し、障がい者の自立を支援していきます。

【発行】大阪いずみ市民生活協同組合 理事長 藤井 克裕

【本件に関する問い合わせ先】 〒590-0075 大阪府堺市堺区南花田口町2-2-15

理事会事務局 広報担当 高野(たかの) 陽一

(電話) 072-232-5100 (FAX) 072-225-2517

(Email) y-takano@izumi.coop